

令和五年七月吉日初版作成

全人類に神聖を思い出させる

プロセス

高嶋善三郎

目次

- 想像することとは、創造する力となる……………3
- 全人類に神聖を思い出させるエネルギー……………4
- 神聖を思い出させるプロセス……………5

お願い

既に作成した資料（バックナンバー）は、ウェブサイト『白光北陸』のブログ欄に掲載しています。

より分かりやすくするため、ご感想があれば、お聞かせください。

次の連絡先にお問い合わせ致します。

（スマホ）090033466619

（メールアドレス）zensan@peach.ocn.ne.jp

想像することは、創造する力となる

想像することは、創造する力となることに気づき、平和を想像し平和を実現することを歌にし、世界に呼びかけた人がいます。

その人は、ジョン・レノンと小野洋子ご夫妻です。

ジョン・レノン氏は、元世界的に人気を博したグループサウンド、ビートルズのメンバーであったこともあり、この歌は今や世界中に広まり、親しまれています。その歌詞を見てみましょう。

イマジン

(歌詞) ジョン・レノン 小野洋子

(日本語訳) オバ・アキヒロ

想像してごらん 天国なんて無いんだ
ほら、簡単でしょっしょっ？
地面の下に地獄なんて無いし
僕たちの上には ただ空があるだけ
さあ想像してごらんみんなが

ただ今を生きているって

想像してごらん 国なんて無いんだと

そんなに難しくないでしょう？

殺す理由も死ぬ理由もなく

そして宗教も無い

さあ想像してごらんみんなが

ただ平和に生きているって

僕のことを夢想家だといつかもしれないね

でも僕一人じゃないはず

いつかあなたもみんな仲間になって

きっと世界はひとつになるんだ

想像してごらん 何も所有しないって

あなたならできると思うよ

欲張ったり、飢えることも無い

人はみんな兄弟なんだって

想像してごらん みんなが

世界を分かち合うんだって・

僕のことを夢想家だといつかもしれないね

でも僕一人じゃないはず

いつかあなたみんなの仲間になって

そして世界はきっと一つになるんだ

この歌では、想像することは、ふわふわした夢ではなく、知性に基づくものであり、世界平和は自分達の想像力により実現していけるのだということを訴えているのです。

事実科学が今日まで発展してきたのは、私達人類に想像力があつたからともいえます。自然の現象を考察し、想像力により仮設をたて、それを実験や自然の現象から、その仮説が正しいかどうかを検証し、新しい原理を次々と人類の財産としてきたのです。

私達の祈りによる世界平和運動は、ただ単なる想像力だけでなく、五

井先生の直霊との合体という稀有な体験に基づき、大神様から伝授された真理や、進化した宇宙人の協力のもと、究明された、宇宙根源のあり方と宇宙神と人間との関係をもとになされているのであり、知性を働かせば、確信となる想像力にもとづくものなのです。

全人類に神聖を思い出させるエネルギー

私達が想像力を発揮し、強力な神聖復活の印が組めるよう、具体的な例えにして示されています。

それが「すべての生命が必要とするものとして、水がある。水は、水素(H)と酸素(O)の化合物である。水素と酸素が一緒になることで、この地上に水(H₂O)という全く新たな物質が生まれる。

同じように、人類にとって必要なのは、宇宙神の大光明エネルギーと肉体エネルギーが神聖復活の印によって一つになること。地上を超えたエネルギーと肉体エネルギーの共鳴現象が起きることで、全く新しい、全人類に神聖を思い出させるエネルギーが生まれる。

こうして神人たちは、地球のすべての生きとし生けるものを救済して、一体となる「**言葉先生のお言葉**」のです。

もし想像することが難しいと感じたら、「私は苦手なので」と諦めるのではなく、五井先生、昌美先生のお言葉を読み返し、心の中を整理していけば、想像することに違和感はなくなるでしょう。

神聖を思い出させるプロセス

前項で言及した、「全人類に神聖を思い出させるエネルギー」はどのように人類を変えていっているのか、想像してみまじょう。

まず、考えられることは、それにより地球を覆う迷いを消している(浄めている)ことでしょう。

次に人類に自他一体観を取り戻させることではないでしょうか。

これについて、故村上和雄筑波大学名誉教授は著書『スイッチ・オンの生き方』¹⁾において、私達のすべての細胞の中にある利他的遺伝子(DNA)が眠っていたのが目覚めてくるのだと解説されています。

笑顔の人を見て、自分までつられて微笑んでしまう。逆に目の前の人
が落ち込んでいたり、機嫌が悪いと、なんだか自分まで悲しく感じたり、

腹が立つてくることもある。これは、人間にはミラー・ニューロンという神経回路が脳の前頭葉にあり、そのはたらきにより他人の感情や行動の意図を鏡のように脳内に映し出し「他人の心を読み取る」という脳の大切な機能を支えているからである。しかし現代の社会や自然環境の変化の中で、「思いやり」や「他人の心を理解する」ことがなかなかできない子が多くなってきているなど、私たちの「ミラー・ニューロンステム」が正常に働かなくなっていることを警告されていますが、これが復活されてくるでしょう。

このミラー・ニューロンの活動を活性化することが若男女を問わず、現代人には必要。この解決方法の足掛かりとして、まず自らいつも心から楽しいと感じる「笑顔」をすることをあげています。表情と感情によって、自分の周りの相手に伝わっていき、社会全体に「ミラー・ニューロンステム」の活動が活性化してくるといわれています。

そして村上教授は、ミラー・ニューロンのはたらきに、人の喜びを我が喜びと感じるという利他的遺伝子が関与しており、人の喜びを我が喜びと感じるとき、このよき遺伝子がオンになっているといわれています。

(註1) 遺伝子(DNA)は、身体の膨大な数(体重六十キロの人で六十兆)の細胞のひとつ一つに一粒の米を六十億に分けたぐらいの極小スペースに三十

二億もの生命暗号を抱え、そこに身体を形つくり、生命を維持するための設計情報がおさめられており、一分一秒も休むことなく、働いている。

（註2）目覚めて働いている遺伝子と眠っている遺伝子の違いについて、たんに質や、それをもとにした酵素つくりなどができるか、できないかで定義され、前者を遺伝子のスイッチが「オン」、後者を遺伝子のスイッチが「オフ」と表現されている。

（註3）人間の身体や能力の差は、遺伝子レベルで見れば、遺伝子の九十九・五パーセント以上は誰でも同じで、違いがあるとするは、遺伝子を眠らせているか、目覚めさせているかの違いだけである。

また（利他的）遺伝子を目覚めさせるためにできることとして六つの想惑行為をあげられていますが、返して言えば、遺伝子が目覚めれば、これらのことが、自然にできるようになるというわけです。

●どんなときも明るく前向きに生きる ●思い切った自分の環境を変えてみる ●人との出会い、機会での遭遇を大切に ●感動する ●感謝する ●世のため人のためを考えて生きる

私達神人が己の利他的遺伝子(DNA)を目覚めさせ、より活性化さ

せば、それは、私達と神聖で一体である人類のそれを連鎖反应的に目覚めさせていくということです。

また私達の肉体のすべての細胞の中には、利他的遺伝子(DNA)のほか、過去人類がそれぞれ獲得してきた智慧や能力の遺伝子(DNA)もおさめられていると言われています。それに神聖の光を注ぎこみ、目覚めさせることにより、様々な智慧や能力が顕現され、それにより自他一体観の世界は、多様化されて広がっていくことでしょう。

私の場合、肉体を健全に保つ遺伝子(DNA)を活性化することを想像(イメージ)して神聖の光を降ろしております。そのお蔭か、高齢の身ではありますが、不思議にも私の体調は良く、気分も若返ってきています。これは私だけではなく、私以上に成果を挙げられている方もおられます。

これらのわずかな体験ではありますが、これにより、遺伝子(DNA)を活性化させることができ、このことの有効性を実感しています。

そして真理(神)の働きを想像(イメージ)すれば、真理(神)の働きを自分のものとするようになることに気付くのです。

